



冬木木だより

2014
冬号
vol.11

友の会会員の皆さまと記念館を結ぶ会報誌

水仙

ことしのわたしの
拈華の花は

水仙

冬生まれのわたしだから

冬の花が

一番心にしみる

特に一白水星生まれのわたしには

寒中に咲く

水仙が

どの花よりもふさわしい



館長エッセイ

【第十一回】真民詩を理解するためのポイント[その2]
家族を詠った詩にこそ真髓がある

真民詩とわたし

真民詩は人生の原動力。迷った時
「先生ならどうするだろう」と考えます

兵頭昭子さん

真民詩を読み解く ⑩

東日本大震災以降、多くの人に
影響を与え、心の支えになっている詩
「あとから来る者のために」

記念館からのお知らせ

坂村真民記念館開館3周年記念特別展
「吉永邦治と坂村真民の世界」展のお知らせ

企画展のお知らせ

「砥部時代の坂村真民 第二部」

ちょっと手ほどき

清澄高潔の世界にいざなう冬の詩

家族を詠った詩にこそ真髓がある

【第十一回】真民詩を理解するためのポイント「その2」

今回は、坂村真民の家族生活の変遷とそれが真民詩に与えた影響について書いてみたいと思います。

◆三人の幼い子とともに

真民詩の初期（三瓶・吉田時代）の詩の特徴は、貧しくても、明るくおおらかな子供に成長してゆく三人の子を題材にした詩が多いことです。

その頃の真民は、体が弱く、病気がちで、学校を休み家で療養していた時期もありました。そんな中、真民に生きる希望と生への執着心を持ち続け



吉田時代（昭和28年頃）

させたのは、家族であり、特に三人の子供たちでした。

「子供が成人するまでは、どんなことがあっても生きなければならぬ」という強い想いが真民の生きる糧でした。こうした想いを詠った詩として「飯台」「三人の子へ」「六魚庵哀歌」「かなしきのうた」「待つこえ」「妻病めば」等があります。

◆子供の成長とともに

宇和島時代の真民家族は、相変わらず貧しい生活（当時の学校の先生の給料は一般の公務員より安い水準で、妻と三人の子供を抱えた生活はぎりぎりでした）が続きますが、そのことに対しては真民も妻もまったく苦にせず、三人の子供たちも明るく美しい娘へと成長していきます。

しかし、真民にとつては、高校生から大学生へと成長する娘の学費や結婚資金の工面をするために、毎年一冊ずつ出版していた「自費出版の詩

集」を延期したり、買いたい本をあきらめたり、妻にも苦勞をかけて、一番たいへんな時期でした。

そういう中で、一遍上人や森信三先生との出会いがあり、詩人として生きてゆく覚悟を決め、「詩国」を発刊することにします。この頃は、詩人として人間として生きる決意を表した詩が多く作られています。「こつこつ」「子らゆえに」「存在」「延命の願」「テンワレラストサルトモ」「本気」「ひとりひそかに」等です。

◆三人の子の独立

砥部時代に入ると、三人の子供も独立して、夫婦水入らずの生活が始まります。真民詩の題材は「三人の子」から「小鳥や草花などの身近な生き物」に移り、そういうものを通して「人間としていかに生きるか」を詠った詩が多くなります。とはいえ、やはり遠くへ嫁いだ娘が帰って来ると、パツと家が明るくなり、妻の笑顔が戻るが、嫁ぎ先に帰ってしまうと、淋しさで二人とも寝込んでしまうと綴っています。この頃は「乾杯」「タンポポ魂」「こおろぎのこえ」「あじさいの花」「うた」「声」「大事なこと」などがあります。

◆妻の病氣

真民詩には、妻のことを詠った詩はあまりありませんでしたが、平成3年（真民82歳）に妻が乳がん入院・手術をして以降、「妻を詠った詩」が多くなります。その後も、妻がくも膜下出血や脳梗塞で入院手術を行うこととなり、これまで真民を陰で支え続けてきた最愛の妻への想いが溢れ出るように、妻を詠う詩を作り続けます。

「五十九年間」「妻を歌う」「月と鯨」「わたしとこのひと」「ふすま二つへだてて」「三姉妹」などがこの頃に作られました。

坂村真民を代表する詩としては、仏教に深く根ざし、自分自身を厳しく律して、「人間としていかに生きるか」を詠った詩が多く挙げられるかもしれませんが、私は、あえて言えば、家族を詠った真民詩こそが、人間としての優しさと純粹に子を想う気持ちを表現した詩として、「純粹に生きることを求め続けた」真民の真髓を詠っていると思います。家族の変遷を、数々の詩の背景に置いて読んでいただくと、さらに深く真民詩の魅力が発見できるものと思います。

真民詩は人生の原動力。迷った時 「先生ならどうするだろう」と考えます

ひょうどう あきこ
兵頭 昭子さん(75歳)



入学した吉田高校で出会った国語の先生はいつぶう変わっていた。教科書を開かずに、万葉集や古今和歌集、宮沢賢治の童話などを朗読し、味わい深い解釈で生徒を魅了した。多感な少女を文学の世界に導くとともに、人としてどう生きるかを教えてくれたのが坂村真民先生だった。

◆初めての授業

吉田高校に入学した私が選択科目で選んだのは日本文学でした。授業初日、教卓に手をついた坂村先生は生徒の顔をゆつくりと見渡したあと、おもむろに「万葉集」から数首を朗々と詠いあげ、それから作者や作品について興味深い話をしたのです。私はすっかり先生のファンになりました。いつもは騒がしい工業科の男子生徒も、神妙に耳を傾けていました。

◆忘れられない一言

仲良くなった4人の女生徒と先生を囲んでおしゃべりしたり、ご自宅を訪ねて本をお借りしたものです。リルケやロマン・ローランなどを教えてくれたのも先生でした。毎日曜日、朝4時に集まって、先生と一緒に大乗寺へ座



仲良し5人組(右から2人目が兵頭さん)。大乗寺での座禅を終えたのち教員宿舎前で撮影。うしろの木は「桃咲く」で詠われた桃

禅に行ったことや、先生の詩集を率先して私たちが売り歩いたことも懐かしい思い出です。

当時、家庭の事情で修学旅行に参加できない生徒がいましたが、私もその一人でした。皆が旅行中は図書室で自習です。たまたま図書室で私たちの姿を見かけた先生は、「やあー」と一言。そこに「辛いだろうが我慢せよ」という声にならない先生の思いを感じて、忘れられない一言となりました。

◆偶然の再会

高校3年の春に先生は宇和島東高校へ異動されました。その後お会いすることはなかったのですが、昭和45年頃に県展の会場で偶然、再会したのです。砥部にお住まいとうかがったの



タンポボ堂で高校の同級生と夫(右端)とともに(平成10年頃)

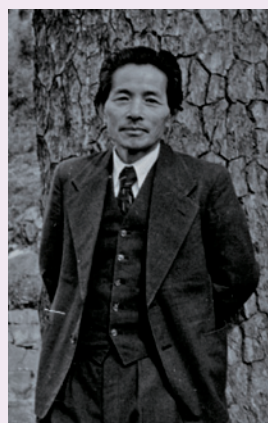
で、それからは先生の好物である草餅などを作ってしばしば訪ねました。

朴庵例会も夫とともに毎月参加しました。例会で昼食をとらない先生は、食事の時間を利用して参加者一人ひとりに声をかけるんです。人を選ばない姿勢は、有名になっても昔とまったく変わりませんでした。

◆生き続ける先生の教え

真民記念館でのボランティアガイドは1年半ほどで卒業し、今は介護施設でのボランティアなどで忙しい毎日を送っています。

毎晩、お風呂で「六魚庵箴言」「二度とない人生だから」などの詩を暗唱します。自分を勘定にいれず、人のために生きようとした先生の教えは、私の中でずっと生き続けており、迷った時は「先生ならどうするだろう」とまづ考えます。先生の詩は私の人生の大きな原動力となり、先生の心は私の子や孫にも受け継がれています。



吉田高校時代、40代なかばの真民さん

東日本大震災以降、多くの人に
影響を与え、心の支えになっている詩

「あとから来る者のために」

この詩は最初、真民が65歳の時に作られたもので、長い教員生活を終えて、やっと念願の詩人として、詩一筋の生活が始まった年に作られました。最初の詩では、65歳の真民が、これから的人生をどう生きてゆくべきか、自分のあとに続いてくる者たちへ、自分は何が出来るのか、というように、主として自分自身に向けて、自分の生き方を問いかける内容になっています。

その後、平成13年に、宮崎県延岡市に、子育て支援センター「おやこの森」が開設されることとなり、この詩を詩碑として建立したいという話があり、92歳になった真民は、今自分は何が出来るのか、そして今生きている人々に向かつて、そのあとに続く若い人たちへ、何を残すべきか、そのためには何をすべきか、という点に主題を変えて、大幅に詩を書き替えました。こちらが、今では決定詩として、92歳の真

民からの、あとに続く者たちへのメッセー
ジとして広く普及している詩です。

東日本大震災を契機に、多くの日本人が、これまでの生き方や仕事の仕方、家族の絆の大切さについて見つめ直し、本当の豊かさとは何かを真剣に考えるようになったと思います。その中で、この詩が今静かに心ある日本人の注目を集めています。

東北の被災者の方々や、復興に向けて日夜仕事をされている行政機関の方々、その方々の努力を一生懸命応援している全国の人々の間で、心の支えとして、また復興への道標として読まれているのです。

今から10年以上も前に作られたこの詩が、新鮮な感動と心からの共感を呼んでいるのです。

私は一つの詩が多くの人達に影響を与えていることに驚くと同時に、真民詩が持っている大きな力を再認識

あとかうしう者のために
あとかうしう者のために
田畑を耕し
種を立念しておろす
山と川と海を
きわいにしておろす
ああ
あとかうしう者のために
習業をし我慢をし
みろそわざの力を相けさ
あとかうしう者のために
あのか愛い者たちのために
みろそわざの自介にき
何かをしし中一のど
鳩壽二日辰

「6曲の屏風を1枚の作品に合成した作品」

しました。真民から若い人たちへのメッセージが現代の人達にきちんと届き、その精神がしっかりと受け継がれていることに感激しています。

今後も、この詩がもつともっと多くの人達に読まれ、その人達の心の灯とならんことを祈っています。



坂村真民記念館開館3周年記念特別展

「吉永邦治と坂村真民の世界」展のお知らせ

期間 平成27年 3月7日(土)～5月31日(日)

場所 坂村真民記念館

「飛天」を描き続け、飛天研究の第一人者として活躍している、画家吉永邦治の愛媛での初めての本格的な作品展を、坂村真民とのコラボ展という形で実現しました。

「飛天図」のほか大作の「仏涅槃図」(縦1.4m、横10.5m)や「釈迦十大弟子」等の迫力ある作品

が展示される予定です。

飛天を題材にした詩を82篇も作っている坂村真民の、「飛天の詩」も数編展示をします。世界中を飛び回っている真民の飛天の姿を思い浮かべながら、神秘的な「飛天の世界」を構成したいと考えています。



香彩虹奏飛天-油彩・カンヴァス(227×145)



天楽飛天-油彩・カンヴァス(150×75)



あーなんだ-鉛筆・紙(120×98)



仏涅槃図-鉛筆・紙(140×1050)

「坂村真民の誕生日の会」にご参加ください。

日時 平成27年1月4日(日) 10:30～13:30

場所 坂村真民記念館会議室

内容 坂村真民が出演している貴重なビデオや録音テープ等を鑑賞したり、ゆかりの人達から思い出話を聴いたりします。昼食を食べながら、皆で思い出を語り合います

参加を希望される方は、メール又は電話で記念館に申し込んでください。先着30名まで受け付けます。

坂村真民記念館 メール info@shinmin-museum.jp 電話 089-969-3643

FM愛媛 毎週土曜日 午前8時55分～9時00分 「しんみんさんの詩」放送中

※FM愛媛(松山79.7MHz 川之江80.0MHz 新居浜89.2MHz 今治80.6MHz 大洲78.8MHz 八幡浜77.6MHz 城川80.2MHz 宇和島82.1MHz)

「砥部時代の坂村真民」第二部の見どころ

期間 平成26年 10月10日(金)～平成27年 3月1日(日)

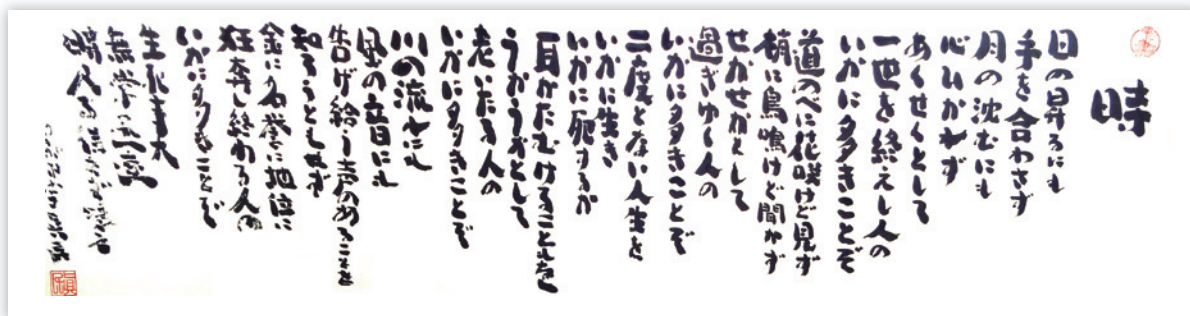
企画展:砥部時代 第二部展

真民80歳からの時代、砥部時代第2部展は、「朴庵例会」の開催とともに全国から熱心な真民詩のファンが砥部に集まり、さらに「全国朴の大会」が全国各地で開催され、真民詩が全国へと広がる時代でもあります。

一方で、妻が病氣(乳がん、くも膜下出血、脳梗塞)となり、寝たきりの状態が平成6年から12年間続く中で、妻を詠った詩が多数作られます。こうした真民80歳～97歳までの最晩年の生き方と、そこから生れた作品を展示、解説しています。

常設展

坂村真民の代表的な詩墨作品を展示しています。初公開の作品も5点あります。「鳥は飛ばねばならぬ」、「時」、「うた」、「七字のうた」「時間をかけて」



ちょっと
手ほどき

清澄高潔の世界にいざなう冬の詩

冬がきたら

1

冬がきたら
冬のただけ思おう
冬を遠ざけようとしたりしないで
むしろすすんで
冬のたましいにふれ
冬のいのちにふれよう

2

冬がきたら
冬だけが持つ
深さときびしさと
静けさを知ろう
冬はわたしに
いろいろのことを教えてくれる
先ず沈黙の大事なことを
すべての真理は
この沈黙のなかからのみ
生まれてくることを
それから自己試練の大切なことを
すべての事を成就するには
この不屈の魂によつてのみ
成功すること

(詩は一部です)

世の中には、冬は寒くて嫌いという人がたくさんいますが、真民さんは冬が大好きでした。

1月生まれだからということもありましようが、凛として澄んだ空気、清廉な装い、俗気を寄せ付けない雰囲気など、冬の内包する世界が、真民さんの厳しくも純粋な生き方にマッチしているからだと思われます。

真民さんは冬を讃えた詩をたくさん詠んでいます。葉っぱを落とした裸木の神々しさも詠んでいます。捨てること、空っぽになることをモットーにした詩人の魂は、冬という季節に磨かれ、鍛えられ、研ぎ澄まされていきました。

冬をうたった真民詩は、読む者の背筋をピンとさせ、清澄で高潔な世界にいざなってくれます。



経営理念

最大の会社より最良の会社
人さまに喜んで頂く仕事と自分づくりをする

[パチンコ店経営]

株式会社 宣翔物産

〒812-0857 福岡市博多区西月隈3-6-17 Tel 092-475-1151

[関連グループ会社]

株式会社 クリオ ホテルクリオコート博多

〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街5-3 Tel 092-472-1111



『木は氣なり』

百年の木には百年の氣が宿り

千年の木には千年の氣が宿る

鳩寿四 真民詩

南木曾木材産業株式会社

〒399-5302 長野県木曽郡南木曽町吾妻1187 代表取締役 柴原 薫

TEL 0264-57-4000 FAX 0264-57-2006 <http://www.nagiso.co.jp> メール kao@nagiso.co.jp

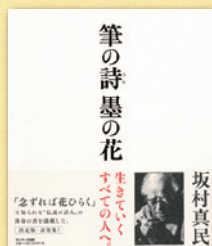


医療法人 誠志会
砥部病院

〒791-2114 愛媛県伊予郡砥部町麻生40-1 TEL089-957-5511

花
花には
散ったあとの
悲しみはない
ただ一途に咲いた
喜びだけが残るのだ

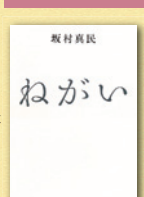
坂村真民記念館
所蔵の作品を満載!



定価=本体3500円+税

筆の詩墨の花

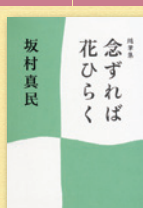
サンマーク出版



随筆集 念ずれば花ひらく
随筆集 めぐりあいのふしぎ
随筆集 愛の道しるべ

定価=本体各1800円+税

坂村真民の本



詩集 二度とない人生だから
詩集 宇宙のまなざし



定価=本体各1000円+税



刊行後16年で
10万部の
超ロングセラー!

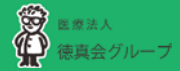
詩集 念ずれば花ひらく

サンマーク出版

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-16-11 <http://www.sunmark.co.jp>
TEL 03 (5272) 3166 FAX 03 (5272) 3167

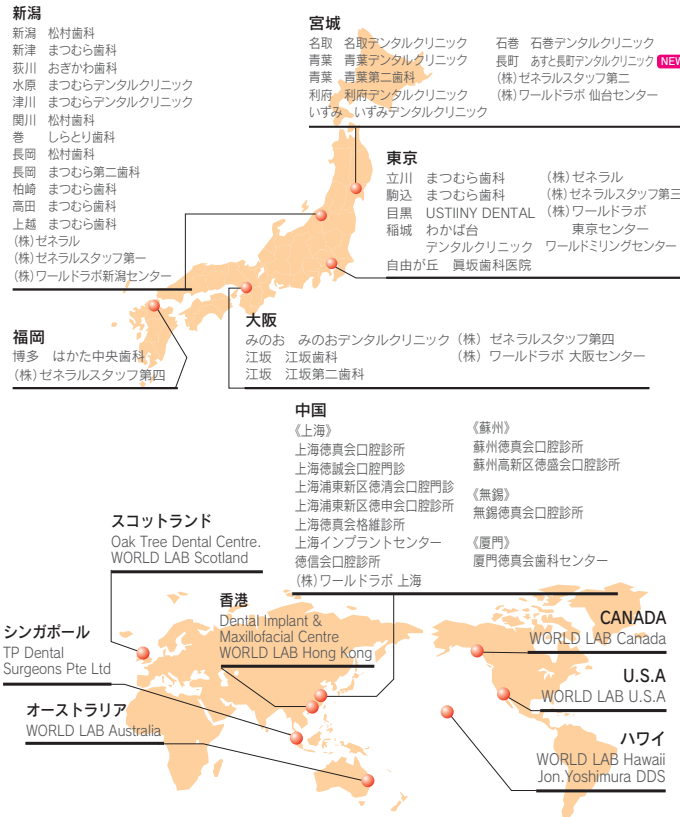
いま届けたい、生き方の道しるべ

医療法人 徳真会グループ



「医療は人なり」の診療概念をもとに患者第一主義の歯科医療グループです。
国内外38ヶ所の歯科医院を展開し、年間80万人の治療に携わっております。

徳真会 検索
www.tokushinkai.or.jp



あすと長町デンタルクリニック

新潟

松村歯科 新潟診療所 ☎ 025-201-1885
まつむら歯科 新潟診療所 ☎ 0250-24-6688
おきかわ歯科 ☎ 0250-23-4880
まつむらデンタルクリニック 水原診療所 ☎ 0250-62-2151
まつむらデンタルクリニック 津川診療所 ☎ 0254-92-0150
松村歯科 関川診療所 ☎ 0254-64-1201
しらとり歯科 ☎ 0256-72-1771
松村歯科 長岡診療所 ☎ 0258-28-4108
まつむら第二歯科(長岡市) ☎ 0258-31-7202
まつむら歯科 柏崎診療所 ☎ 0257-20-0310
まつむら歯科 高田診療所 ☎ 025-521-6780
まつむら歯科 上越診療所 ☎ 025-522-6001

宮城

いずみデンタルクリニック ☎ 022-253-1588
青葉デンタルクリニック ☎ 022-348-2125
青葉第二歯科 ☎ 022-348-1085
利府デンタルクリニック ☎ 022-766-4130
名取デンタルクリニック ☎ 022-381-0921
石巻デンタルクリニック ☎ 0225-25-5088
NEW あすと長町デンタルクリニック ☎ 022-399-6688

大阪

江坂歯科 ☎ 06-6386-0233
江坂第二歯科 ☎ 06-6310-7660
みのおデンタルクリニック ☎ 072-749-2080

東京

まつむら歯科 駒込診療所 ☎ 03-3949-8818
まつむら歯科 立川診療所 ☎ 042-538-1088
USTINY(アスティニ) ☎ 03-6431-8633
わかば台デンタルクリニック ☎ 042-350-5671

福岡

はか中央歯科 ☎ 092-892-5134

中国

廈門徳真会歯科センター ☎ 86-592-2290088
上海徳真会口腔診所 ☎ 86-21-5208-0208
上海徳誠会口腔門診 ☎ 86-21-6340-0290
上海浦東新区徳清会口腔門診 ☎ 86-21-5030-7858
上海浦東新区徳申会口腔診所 ☎ 86-21-6856-1040
上海徳真会格維 ☎ 86-21-3366-6129
徳信会口腔診所 ☎ 86-21-6268-2286
蘇州徳真会口腔診所 ☎ 86-512-6763-5720
蘇州高新区徳盛会口腔診所 ☎ 86-512-6803-2501

無錫徳新会口腔診所 ☎ 86-510-85281121
Branemark Osseointegration Center ☎ 86-21-6289-8101

株式会社ワールド・ラボ

新潟センター ☎ 0250-23-2009
大阪大阪センター ☎ 06-6190-2660
仙台センター ☎ 022-348-1206
東京センター ☎ 03-6431-9239

WORLD LAB U.S.A ☎ 1-949-727-0121
Ultimate Styles Dental Laboratory ☎ 1-949-727-0822
徳真会歯科制作(上海)有限公司 ☎ 86-21-5270-1325

株式会社ゼネラル、 株式会社ゼネラルスタッフ第一～第四

本社 ☎ 025-201-1183
新潟本部 ☎ 0250-25-2016
東京本部 ☎ 03-6431-9809
大阪本部 ☎ 06-6310-6066
福岡本部 ☎ 092-892-5134

坂村真民記念館友の会 会員募集中

坂村真民記念館友の会は、会員の皆様と記念館との交流を図り、記念館を共に支え、育てていくことを目的とした会です。入会された方には会報と、真民グッズなどの記念品を贈呈します。

パスポート会員 年会費2000円	特典 会員証で入館無料1人 ほか
一般会員 年会費5000円	特典 会員証で入館無料1人 ほか
特別会員 年会費10,000円	特典 会員証で入館無料2人 ほか
法人会員 年会費10,000円	特典 会員証で入館無料2人、 観覧券10枚贈呈 ほか

詳しくはホームページをご覧ください 坂村真民記念館 友の会 検索

〈編集後記〉 早いもので開館3周年を迎え、3月7日から始まる特別企画展「吉永邦治と坂村真民展」の準備で忙しくしています。この3年間は、全国の真民ファンの方々にいかにこの記念館の存在を知ってもらおうか、ということに全力投球してきました。確かな手ごたえは感じていますが、まだまだ周知できず、ご存じない方が全国に一杯おられます。皆さんも是非真民記念館の宣伝マンになって、記念館の素晴らしさを宣伝してくださいませんか。(西)

タンポポだより vol.11 冬号

平成26年12月1日発行 表紙写真：西澤孝一
発行元／坂村真民記念館友の会事務局
〒791-2132 伊予郡砥部町大南705 坂村真民記念館内
TEL089-969-3643 FAX089-969-3644

〔坂村真民記念館〕

開館時間／9～17時(入館は16時30分まで)
休館日／月曜(月曜が祝日の場合は翌日)、12月29日～1月1日
入館料／65歳以上300円、一般400円、高校生・大学生300円、小・中学生200円 ※15人以上の団体は割引あり